



フィリップ モリス ジャパン

プレスリリース

2026 年 8 月 5 日
フィリップ モリス ジャパン合同会社

令和 8 年熊本地震の被害に対する支援について

このたびの令和 8 年熊本地震により犠牲になられた方々に対しまして、心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された地域の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

フィリップ モリス ジャパン合同会社(本社:東京都千代田区、社長:コスタス・サルヴァラス)は、このたびの被災者の皆さまの支援や被災地の復興にお役立ていただくため、企業版ふるさと納税を活用し、熊本県に 2,000 万円を寄付します。

一日も早い復旧と復興を心よりお祈り申し上げます。



PMI の企業ビジョン:「煙のない社会」のグローバルリーダー

フィリップ モリス インターナショナル(以下「PMI」)は、「煙のない社会」の実現を目指し、長期的に紙巻たばこやニコチン以外の製品を含むポートフォリオの進化に取り組む国際的消費財企業です。現在の製品ポートフォリオは、主に紙巻たばこおよび煙の出ないたばこ又はニコチン含有製品(以下「煙の出ない製品」)で構成されています。PMI の煙の出ない製品は、2026 年 6 月 30 日時点で、世界で 109 市場における主要都市ないし全国規模で展開しており、2025 年 12 月 31 日時点で、全世界で 4,300 万人以上の成人喫煙者(日本においては 20 歳以上、以下同)が PMI の煙の出ない製品を使用していると推定されています。煙の出ない製品に関連する事業は、PMI の 2026 年第 2 四半期において、純売上の 42%を占めています。PMI は 2008 年以降、160 億米ドルを投資し、紙巻たばこの販売終了を目指して、喫煙を続ける成人喫煙者のために革新的な煙の出ない製品の開発、科学的実証、市販化を行っています。これには、特に前臨床システム毒性学、臨床・行動研究、市販後調査の分野における世界トップクラスの科学的評価能力の構築が含まれます。科学的根拠に基づく厳格な審査の結果、米国食品医薬品局(FDA)は、スウェディッシュマッチ社の製品 General snus および経口ニコチンパウチ ZYN、ならびに PMI 社の一部の IQOS デバイスとたばこスティックの販売を許可しました。これは、それぞれのカテゴリーで初めての許可となります。また、一部 IQOS デバイスとたばこスティック、ならびに General snus は、初めてのリスク修飾(軽減)たばこ製品(MRTP: Modified Risk Tobacco Products)として FDA の許可を取得しました。ライフ・サイエンス分野における強固な基盤と重要な専門性を持つ PMI は、ウェルネス分野への拡大を長期的な目標としており、シームレスな健康体験の提供を通じて生活をより豊かにすることを目指しています。

詳細は、PMI のウェブサイト(www.pmi.com)および PMI サイエンス(www.pmiscience.com)をご覧ください。

「煙のない社会」を目指す PMJ について

フィリップ モリス ジャパン(PMJ)は、PMI の日本における子会社です。日本で販売される PMI 製品のマーケティング・販売促進活動を行っています。PMJ は 1985 年に日本で営業を開始して以来、事業拡大と成長を続け、全国に約 1,600 人の従業員を擁し、日本のたばこ市場で 43.6%のシェア(2026 年第 2 四半期決算)を有する、加熱式たばこを中心に市場を牽引する企業です。PMJ は PMI が掲げる「煙のない社会」を目指す取組みをここ日本で推進しています。PMJ の「煙のない社会」の実現を目指し、加熱式たばこのみ利用可能な「煙のない」施設や観光地などを全国で広げる取組みに関して詳しくは PMJ ウェブサイトをご覧ください: <https://www.pmi.com/markets/japan/ja/home>